NITTO KOHKI
日東工器株式会社

3月号
2024年
（令和６年）
第574号

中部機工新聞

発行所
株式会社 中部機工新聞
〒460-0003
名古屋市中区錦２-12-８ 御幸本町ビル３F
TEL 052(265)5103
FAX 052(265)5104
購読料 年間4,800円
振込先 三井住友銀行 梅田支店
口座番号 普通 9655353

あくが屋 切削工具の通販プロショップ
http://www.akugaya.jp/

2024中部パック開幕迫る

214社が包装機械はじめ最新鋭機出品

ポートメッセ第1展示館で 4月17日から20日まで

2024中部パック（主催＝中部包装食品機械工業会（会長＝生田湧希氏、フジキカイ）は、4月17日（水）から20日（土）までの4日間、名古屋市港区のポートメッセなごや・第1展示館を会場に、『私たちができること～食と包装の未来に向けて～』をテーマに開催される。開幕まであと一カ月、動員に力が注がれている。

中部パックは、包装機械、製パン製菓機械、食品機械、物流機械、関連機器、環境機器及び包装資材、食品材料等を資材から、包装、物流までを一貫して展示し、業界の発展とユーザーとの共存共栄の道を拓くことを目的としている。

今年度は、同工業会が創立50周年を迎え、会場となる第1展示館（22年10月にリニューアル）も初めて使用するなど、節目と新たなスタートで例年以上の盛り上がりを見せている。

開催規模は前回をやや上回り、出品者数214社、出品小間数604小間（2月29日現在）。出品分類別（小間数）でみると、ウエイトの高いのは、包装機械が35％、包装関連機械・機器15％、製菓製パン機械10％となっている。新規出品社は42社。

出品内容の一部を紹介すると、包装機械では、個装・内装機械から外装・荷造機械まで、日本の代表的なメーカーが最新鋭機を出品。

包装材料加工機械では、製袋機、スリッター、リワインダー等。製菓・製パン機械では、ミキサー、デバイダー、モルダー、醗酵室、オーブン、蒸し機、包あん機、フライヤー等。食品機械では製粉機・製麺機械、食品加工機、野菜加工機、米飯加工機、豆腐製造機器等。食材では、製菓原料一般、環境機器では、産業廃棄物の無公害焼却技術等が出品される。

一方、中部パックならではのタイムリーなテーマを掲げた特別講演会、SDGsセミナー、実演セミナー（食材活用・調理）、設備投資に役立つ補助金セミナー（初企画）、出品者によるプレゼンテーションセミナーなど、聴く事による情報収集も充実されている。

また、個別展示のほか会場では、新商品開発のヒントに繋がり、試食・販売も行う「チューピーマルシェ」、農林水産業の「6次産業化推進コーナー」、「包装相談所」、学生向けの「愛知工業大学ロボットミュージアムブース」などの設置、そのほか解決したい悩みに応える「解決ボード」の掲示といった、来場者の満足度を高めるための企画が数多く実施される。

なお、会期中の開催時間は午前10時から午後5時まで。

【問合せ先】事務局 052（452）3161 https://chubupack.or.jp

会見に臨む左から生田、吉田（眞）、吉田（真）氏

大阪で『INTERMOLD』

4月17日～3日間 6つのフェア、講演会を併催

金型・金属プレス加工の専門見本市「INTERMOLD／金型展／金属プレス加工技術展2024」は、4月17日（水）～19日（金）にインテックス大阪（6号館A・B）で開催される。主催は一般社団法人日本金型工業会・テレビ大阪、一般社団法人日本金属プレス工業協会で、運営はインターモールド振興会。

今回の開催テーマは、「変革に対応するものづくり～求められる技術のさらに先へイノベーションを発信し続ける」とし、金型設計・製造から金属プレス・プラスチック成形に至る一連の工程における最新製品やサービスなど、注目のソリューション提案を行う。

開催規模は、出展者363社・団体、699小間（3月5日現在）。

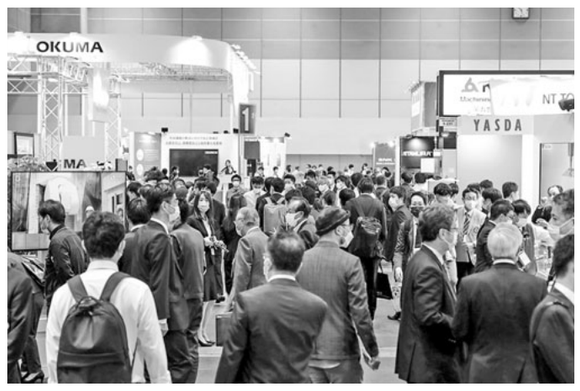
会場内では注目テーマの展示企画フェアを実施予定。次世代加工技術として注目される「3Dプリンティング&AM技術フェア」や、金型業界にも大きなお波として押し寄せつつあるプラスチック加工に焦点を当てた「次世代プラスチック加工フェア」、生産性向上・業務効率改善をテーマにした「製造業DXフェア」をはじめ、合計6つのフェアを展開する。

各フェアと連動した専門的な講演も多数開講。一部講演については、来場登録（完全事前来場登録制）同様、事前に登録サイトから聴講登録が必要。登録については、現在公式サイトから登録を受け付け中である。

特別講演については、「自動車産業を取り巻く環境変化と金型を軸とした競争力について」（講師＝トヨタ自動車株式会社モノづくり開発センター素形材技術部主査門野英彦氏）、「中国ギガダイキャスト型の現状及び勢い」［日本語講演］（講師＝中国模具工業協会シンクタンク専門家（管理型）／中国模具工業協会鋳造模具委員会常務副主任／大連市模具協会常務副会長／共立精機（大連）有限公司董事長孟強氏）が予定されている。

このほか、企画フェアにおける講演会、第16回学生金型グランプリ～次世代のモノづくりを担う学生による金型製造技術の発表～、日本金型工業会、日本金属プレス工業協会それぞれのパネルディスカッションが行われる。

【公式サイト】https://www.intermold.jp


前回の大阪展（2022. 4）

記者会見

食の安全性を追求

未来に向けた設備提案

同工業会は、いよいよ最終準備段階に入り来場者の動員に力を振り絞っている。2月29日には、生田会長、吉田（眞）副会長（中部パック実行委員長）、吉田（真）副会長（同実行委員）3氏が出席し記者会見を行った。

会見で生田会長は、過日開催された創立50周年記念式典の報告とともに、業界の現況と課題に付いて次のように述べた。「人口減少に伴い食品の消費量は減少し、その打撃は当業界を直撃する。関連企業はこぞって価格と品質で差別化を図ることが不可欠となる。最優先されるのは〝食の安全性〟であり、そこに至るまでの一切を『中部パック』を通じて課題解決に繋げていくことに努めたい」。

吉田実行委員長は開催概要を説明し「出品者は前回を上回る214社（小間数604小間）が登録（初出展42社）。会場もグレードアップしアクセスの利便性も向上しているので、前回（4万7千名）以上の動員を達成したい。展示内容については、食品の未来に向けた一連の設備導入等への提案を第一に集約している。〝来場者には来てよかった。出品者には出してよかった〟と感じてもらうのが不変のテーマなので、今回もその実現に傾注する」。

吉田実行委員は、展示会の経緯を説明。「原料、加工、包装、物流」まで一貫してプレゼンできる有意義な活発なフェアを今回も展開したい」として、併催の講演会・セミナー、諸企画、動員への取り組みに付いて詳細を説明した。

中部包装食品機械工業会

創立50周年記念式典挙行

歴史を塗り替え新たなスタート

中部包装食品機械工業会（会長＝生田湧希氏、フジキカイ）は、『創立50周年記念式典・祝賀会』を2月5日、名古屋観光ホテルで開催した。出席者230名。

同工業会は1973年、名古屋を中心とする製菓機械、製パン機械、食品製造・加工機械等の製造販売会社によって、相互の理解啓発を推進し、技術の高度化と経営体質の強化を計り、産業界のニーズに応えることを趣旨に創立された。

初代会長は、生田幾也氏（フジキカイ創業者）。創立当初の会員は29社であったが、現在は78社に上っている。

同工業会の最大事業となる展示会は、第1回目が『名古屋包装・食品機械展』（現中部パック）として1979年に開催され、以来時代の変化とともに進化し続け、今年4月の開催を間近に控えている。

生田湧希会長

記念式典では、生田会長のあいさつ、来賓代表衆大村秀章愛知県知事の祝辞、来賓紹介、功労者表彰（別掲）が行われたほか、開会に先立ち披露された『書道パフォーマンス』は、津軽三味線奏者鈴木利枝氏の演奏に耳を傾けながら、書家三重野文緒氏が力強くスピーディーに書いた二文字〝包〟〝想〟に注目が集まった。

生田会長は創立当時からの経緯を説明し、「50年経った今でも目的は変わることなく受け継がれている。一方展示会は今回第24回目を迎える。昭和から平成そして令和へとものづくりを基本として人に優しい商品づくりを心がけ、日々努力し最新の技術の発表の場として歩んできた。また、式典では長きにわたり工業会の発展に格別の尽力をいただいた会員企業、功労役員を対象に表彰を準備している。この50周年を節目に、これまでの歴史を塗り替える新たなスタートをしたい」とあいさつした。

大村知事は「地域の経済産業を支えていただき感謝している。今年も皆さんの仕事の隆盛とともに中部パックの成功を祈念している」と述べ、また愛知県の事業に付いて現況を報告した。

また、被表彰者を代表して渡辺将博氏（ワタナベフーマック）が謝辞を述べ、吉田真宏副会長（サンワ）の閉会の辞で式典を終了した。

盛大に開催された『創立50周年記念式典』

第2部のアトラクションでは、女子プロゴルファー藤井美羽プロを迎えてトークショーが行われ、藤井プロのゴルフとの出会い、プロへの挑戦、プレーへのこだわりなどが披露され、クラブを持参した聴講者に直接指導するシーンも見られた。

引き続き行われた祝賀会は、2023Miss SAKE愛知の森川裕希恵氏が『鏡開き』の由来を話し、それを意識し代表による鏡開きが行われ、その後開宴に先立ちあいさつした吉田眞治副会長（ヨシダキカイ）の発声で乾杯した。

懇親の席では、梅森前会長の感想をうかがうことができた際に「当業界が変化していく中で、工業会もその変化に対応しながら活動を継続してきた。引き続き次代を担う若い世代に上手くバトンタッチしていければ幸いに思う」と話した。

なお盛会のなか、牧野研二副会長（ゼネラルパッカー）の中締めで閉会となった。

被表彰者代表

【企業表彰】▽イシダ総合システム（代表取締役＝南澤誠氏）▽ワタナベフーマック（代表取締役＝渡辺将博氏）

【元役員】▽前会長＝梅森輝信氏（元ゼネラルパッカー）▽前副会長＝故部谷政義氏（元東洋機械製作所）▽伊藤静夫氏（榎村鐵工所）、直井昇氏（森川フードマシン）、渡辺健壱氏（ワタナベフーマック）。

OSG株主総会

成長分野で販路拡大
新組織で企業価値向上

オーエスジー（本社＝愛知県豊川市本野ケ原、社長＝大沢伸朗氏）は2月16日、愛知県豊橋市のホテルアソシア豊橋にて「第111回定時株主総会」を開催した。

はじめに、議長を務める石川則男会長が挨拶に立ち、年頭に景気停滞が懸念される中国を視察訪問した際のエピソードを紹介。「欧米人の姿がほとんど見られず、海外からの投資や人の交流が滞っているとの印象で、市況を見てもデフレの匂いが感じられた。しかし、経済の底も見え始めたとの声も多く聞かれた」と回復への期待を述べた。

次いで、議事の進行に移り、2023年11月期の同社の事業活動について、映像を活用して報告した。

中国経済の停滞やウクライナ情勢などの地政学リスクの懸念が高まる中、同社グループは米州および欧州市場は堅調に推移したものの、中国、台湾を中心としたアジア圏および日本は厳しい状況が続くなど、「地域によって、明暗が分かれた」と説明。

大沢伸朗社長

2023年11月期連結業績は、売上高が1千477億300万円（前期比3・6％増）、営業利益が198億円（同9・6％減）、経常利益が213億5千万円（同9・7％減）、当期純利益が143億700万円（同13・5％減）となり、「欧米がけん引し、過去最高の売上高を達成したが、一方で中華圏の停滞が続き減益に。海外売上高比率については、円安の追い風もあり、前期と比較して増加し、67％（前期は64・9％）となった」と報告した。

今後の見通しについては、先行きへの不透明感はあるものの、海外市場でのシェアアップを最重要課題とし、グローバル市場でのユーザー開拓と「Aプラン」ド製品戦略」を推進することで、一層の成長を目指す。22年11月期よりスタートした中期経営計画について触れた。

24年11月期の業績予想は、連結売上高は前期比3・6％増の1千530億円、営業利益は同16・2％増の230億円、経常利益は同7・7％増の230億円、当期純利益は同8・3％増の155億円を目標とした。

決議事項である、第1号議案＝剰余金の処分の件（普通株式1株につき金32円、中間配当金を含めた当期年間配当金は、1株につき60円）、第2号議案＝取締役（監査等委員である取締役を除く）2名選任の件、第3号議案＝監査等委員である取締役5名選任の件、第4号議案＝役員賞与の支給の件は、原案通り承認された。

株主総会終了後は、引き続き懇談会が行われ、大沢社長が中長期的な経営環境での同社の経営方針を説明した。

オーエスジー第111回株主総会

「自動車産業のゲームチェンジ」とのタイトルを掲げ、大変革の最中にある自動車業界の最新動向を説明。中国BYDの猛進が続くEV市場について、「中国攻勢への警戒や不安定な充電インフラ環境などを背景に、補助金の停止・縮小など、欧米ではEV普及への減速感が表面化している」と直近の市場動向を分析した上で、「EVの市場シェアは最大で3割。残りの7割はHVなどで、エンジン車は必ず残る」とのトヨタ自動車・豊田章男会長の予測を紹介。

さらに、航空機市場では小型・中型機はすでにコロナ前を超える水準に回復しており、「カーボンニュートラル時代に向けて、世界のモノづくり産業に貢献するエッセンシャル・プレーヤーとしての役割を果たしていく」との方針を述べた。

また、「中期経営計画での主要課題であったグローバル市場でのシェア拡大と新たな成長市場である微細精密加工向けの売上拡大、収益性改善なども、部門を超えて発足した多くのワーキンググループの活動を推進し、成果を上げている」と力説した。

最後に、地域貢献への事業活動や、人的資本の活用を目的に「リソースマネージメントセンター」を昨年12月に設置したことを明らかにして、経営への理解と支援を求めた。

次いで、「中期経営目標達成のための体制変更、施策」をテーマに、安形幸治執行役員が、新設の「リソースマネージメントセンター」の目的を説明。同センターは人事総務部、経理室、調達部を統括し、3部門経営資源の最適・最大活用と適正管理を目的に新設。具体的には、組織の垣根を取り払い、専門性を深化する縦割り組織に、横へ拡がる組織力を加えることで、「人財の循環による組織の変化に伴い、新たな目線による気づき（チャンス）、違和感から生まれる進化（チェンジ）、リソース（情報・知識）の活用／蓄積（チャレンジ）による社員個々の変革への対応力とスキルアップを推進する」とした。

最後に、南アジアおよび中近東を担当する米田能崇上席執行役員より、成長市場であるインドでの戦略について、取り組み状況を報告。「現在、インド国内には3つの生産拠点でタップやドリル、エンドミル等を生産し、100社以上の販売網と直販ルートで拡販活動を展開している。将来的には、現地法人2社の年間売上高として、『OSGINDIAで50億円、CCTで20億円を達成することが夢』」との抱負を述べた。

フルサト・マルカHD

決算、機械・工具好調
新物流拠点堺市に新設へ

フルサト・マルカホールディングス（本社＝大阪市中央区南新町、社長＝古里龍平氏）は2月19日、飯田邦彦会長、古里社長が出席し、オンラインでの「2023年12月期決算説明会」を開催した。

古里 龍平
飯田 邦彦
藤井 武嗣

説明会では、藤井武嗣執行役員管理本部長が2月13日に発表した2023年12月期決算（連結）を説明。世界的な景気減速が懸念される中、統合シナジーの早期具現化やプラットフォームの充実（機能拡充）、戦略分野への注力を行い、売上高は1千729億8千万円と前年同期比105億6千300万円増（6・5％増）、営業利益は57億500万円と同1億9千万円減（3・2％減）となった。

また経常利益は66億5千200万円と同4億200万円減（5・7％減）、当期利益は46億9千800万円と同1億6千600万円増（3・7％増）となった。

セグメント別では、国内外のモノづくり産業向けの技術商社として提案活動を展開している「機械・工具セグメント」は堅調なEVや半導体関連を背景に、売上高1千171億2千800万円（前年同期比9・4％増）、営業利益37億5千800万円（同16・2％増）で、売上・利益ともに全社の業績をけん引した。このうち海外売上高は、316億9千万円（同6％増）で、北米ではテリトリーの拡大などにより、工作機械の売上が増加。中国では景気減速が続く中、「大口案件捕捉により売上増加となった」（同社）としている。

国内建設業への鉄鋼・配管資材、住宅設備機器を提供する「建設資材セグメント」は、売上高452億4千100万円（同3・3％増）、営業利益は19億8千700万円（同23・8％減）の増収減益となった。建設機械や荷役機械等を扱う「建設機械セグメント」は、76億500万円（同14％減）、営業利益は8千100万円（同42・7％減）の減収減益。オフィス・工場・倉庫などでのニーズに合わせたトータルソリューションを提供する「IoTソリューションセグメント」は、グループ会社との協業効果により売上高30億400万円（同10・8％増）、営業利益3千800万円で前年同期比9千500万円増となった。

24年度から第2ステージとなる中期経営計画「UNISOL」の進捗状況については、「最終年度（26年12月期）の目標『売上高2千億円、営業利益100億円』達成に向けての成長のスピードを加速させる」とし、具体的には①新事業分野への展開②グローバルマーケットでの飛躍③ストック型ビジネスの強化―を推進する方針だ。

24年度の通期業績予想では、自動車業界での回復が見込まれるものの、国内・海外（米国・中国）での期初受注残高が前年より減少したことや新物流センター稼働やシステム投資等による販管費増加などを考慮し、売上高1千740億円（通期増減率0・6％増）、営業利益55億円（同3・6％減）、経常利益63億円（同5・3％減）、当期純利益42億円（同10・6％減）と利益ベースでは前年を下回るとした。

この後、質疑応答に移り、古里社長が応答した。統合シナジー効果については、「セグメント間やグループ間での人的交流や情報の共有化の進展に伴い、例えば建設資材の顧客先に鍛圧機械を販売するなど、新たな商流や商材の開拓・拡充の成果が具現化しているのに加え、拠点や業務の集約化によるコスト削減の効果を得るなど、着実に成果を示している」と回答。

人事面でも、「7月からフルサト工業、マルカ、ジーネットの人事・評価体系を揃える取組みを予定しており、それに伴い24年度は1億3千400万円の人件費増を見込んでいる」ことを明らかにした。

また物流や建設現場での2024年問題への対応については、「従来のフルサト工業とジーネットの物流施設を統合し、新たに57億円強を投資して、大阪・堺市に新物流拠点『UNISOLL・C・OSAKA』を新設。スペース拡大による作業効率向上や、新物流管理システム導入による在庫管施策強化などを展開し、2024年問題に対応する。ただ、当社グループの事業活動では、建設現場での『時間外労働の上限規制』による影響が大きく、業界全体の今後の動向や対応について注視したい」との見解を示した。

日伝名古屋

来場者の設備意欲高まる
カーボンニュートラル展を開催

日伝名古屋支店（名古屋市昭和区、支店長＝朝田春彦氏）は2月20日、名古屋国際会議場イベントホールにおいて『MEKASYS カーボンニュートラルソリューション展』を開催し、当日1千400名近くが来場した。

同社のプライベートフェア『MEKASYS展』は他地区でも展開しているが、カーボンニュートラルを基軸にしているのは現在名古屋地区のみで、ユーザーの関心の高さがうかがえる。

日伝福家利一社長

今回は59社のメーカーが、『省エネ』、『IoT』、『再エネ』各ゾーンで、カーボンニュートラルへの取り組みの基礎段階から、ユーザーの環境にマッチした技術提案、商材の推奨などを積極的に行い、実りある展示会となった。

また、会場内のミニセミナー、展示会場とは別会場でカーボンニュートラル関連のタイムリーなセミナーが複数実施され、情報収集の面でも評価を得ていた。

一方、開会前には日伝福家利一社長があいさつを行い「カーボンニュートラルへの関心が強まる中、日常の営業においても専門性が高まり、レベルアップが図られている印象が強い。今回も動員が期待されているので、有効な機会となる事を願っている」。

また決算前の現況に触れ、その中で新中期計画においては「少子高齢化による労働人口低下への対応策として不可欠な自動化、更なる高度化が求められる品質管理、本格化する物流問題などに目を向け、『安定調達』を可能にすべく、以前の物流センター（複数地区）を整備して再稼働し、物流機能の向上を図る新たな体制を確立する方向性を出していく」と述べた。

会場内“省エネゾーン”

高精度耐摩耗治工具
超硬／ダイヤモンド／cBN／セラミック
http://www.fuji-inc.com
藤工業株式会社
FUJI INDUSTRIES CO.,LTD.
〒455-0803 名古屋市港区入場2丁目411番地　TEL.052-383-8783　FAX.052-384-7383

三菱マテリアル 超硬工具　NACHI ドリル・CRE製品
KYOCERA セラチップ　フタバ ダイセット・プレス省力化機器
転造ローラー・ドリル・タップ ねじゲージ・エンドミル　SANDVIK Coromant スローアウェイチップ Q-カットシリーズ・ブロックツール
代理店
モリテツ 機械工具総合商社 株式会社 森哲
〒467-0875 名古屋市瑞穂区御剱町1-8
TEL(052)871-0221(代) FAX(052)871-0229
URL:http://www.moritetsu.co.jp

コストダウンとスピードに対応
GrabIQ™ グラビック システム吊り具
チェーンスリングシステムのために開発された部材の使用でパーツ点数を飛躍的に削減。シンプルな構造で作業効率の向上に寄与します。
従来の Grede8 吊り具に比べ 強度が約25%アップしました。 総重量の軽減
1点吊り用　2点吊り用
マーテック株式会社
株式会社 サカイリフテク
〒460-0022 名古屋市中区金山1丁目4番8号
TEL(052)331-5381(代)
FAX(052)332-5685
http://www.slft.co.jp/

こんな「人材」が欲しい！
その節は是非お声掛け下さい
作業員・事務員・営業セールス・専門職 etc...
ご要望に応じたスタッフをご紹介いたします。
FA業界に貢献する人材クリエイター　㈱中部機工新聞
〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目12-8 御幸本町ビル3階
TEL052(265)5103 FAX052(265)5104 E-mail:toolnp@aqua.ocn.ne.jp

別注品トランク
精密・測定・電子機器、部品の収納トランク、ケースを
一台からご要望どおりに製作します。
取り外しのできる型抜き材
あらゆるモノを パワフルにガードする STシリーズ（アルミ合金製）
用途に合わせ、自在に 内装材をカット
●機器搬送・サービス用トランク
●現金・重要書類用トランク
●現金輸送用トランク
●コンピュータ関連品各種
株式会社 ダイトウ トランク
機械工具の総合商社
近代精機株式会社
KINDAI SEIKI CO.,LTD.
http://kindaiseiki.co.jp
住所：名古屋市南区内田橋2丁目8番1号
TEL：(052) 692-8201代表
FAX：(052) 692-8225

『提案します』
多彩な知識
主要取扱商品
電動工具
作業工具
測定工具
INTO 印藤産業株式会社
本社 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南四丁目3番4号 電話(052)571-3531番 Fax.(052)571-0959番
金沢営業所 〒921-8043 石川県金沢市西泉5丁目116 電話(076)243-3681番 Fax.(076)280-8555番

MADE IN JAPANのTOOLを世界に発信中!!
中華人民共和国　滋賀　名古屋　岐阜西　上海　マニラ　フィリピン
伊藤信本社
イトーノブ ITO NOBU
E-mail:info@ito-nobu.co.jp
URL:www.ito-nobu.co.jp
グローバル企業を目指す機械工具の総合商社
伊藤信産業株式会社
■本社 TEL 052-871-4641 FAX 052-871-6257
■滋賀営業所 TEL 0749-45-5177 FAX 0749-45-5188
■岐阜西営業所 TEL 0584-47-7622 FAX 0584-47-7633
■中国：上海法人 TEL +86-21-54220999 FAX +86-21-64062570
■フィリピン法人 TEL +63-49-502-3638 FAX +63-49-502-3727

AMAZING PRODUCTIVITY
究極の高能率加工
LOGIQ 3CHAM THREE FLUTE CHAMDRILL
[ロジック3カム]
×3倍速
3枚刃 最強最速 ヘッド交換式ドリル
セルフセンタリング形状 高精度な穴加工に有効 加工径Φ12-25.9mm
座ぐり穴加工用 フラットヘッド
1.5XD 3XD 5XD 8XD
ISCAR WORLD 探したい答えが手のひらに イスカルの情報集約アプリ
今すぐダウンロード
イスカルジャパン株式会社 www.iscar.co.jp
■代理店
滝川物産株式会社
本社 名古屋市中川区舟戸町5-23 〒454-0805
TEL(052)363-2101 FAX(052)363-2108

すべりねじの問題を解決
異音や摩耗の軽減
■表面処理種類の選定や、材質の選定等により、音鳴りや摩耗を軽減します。
錆の抑制
■表面処理により、錆の発生を抑えます。
高精度管理
■研削ねじ等の高度なねじ精度のすべりねじを製作します。
【すべりねじの用途】
・半導体製造装置　・印刷機械
・医療機器　・工作機械
・食品機械　・梱包機械
・アミューズメント他多種
人の力を技術の力に― TOYO 東洋シャフト株式会社 TOYO SHAFT
代理店　伝動装置用品総合商社
株式会社 イワタ
〒466-0059 名古屋市昭和区福江一丁目22-6
TEL(052)871-4181(代)
FAX(052)882-3263

中部プラ・振興会
合同新年講演会

EV市場の動向等聴く

自動車産業調査会社　フォーイン東氏迎え

令和６年　新年記念講演会

中部プラスチック金型協同組合（理事長＝加藤正彦氏、三洋製作所）と中部金型技術振興会（理事長＝朝岡正氏、朝日精密工業）合同の新年記念講演会及び新年会が、2月2日午後4時20分よりCIRQ栄西ラグナスイート名古屋で行われた。

講演会の講師には、自動車産業専門の調査会社フォーイン取締役技術調査部長東尚史氏を迎え、演題「世界の自動車産業の現状と将来展望」を聴講した。

講演会は、BEV（バッテリー電気自動車）化の動向、また後半は大物の一体成形を可能とする「ギガキャスト」を中心に話が進められた。

電気自動車の2023年の販売速報によると、23年のEV市場の成長はやや鈍化したが、依然として拡大傾向にあり、2035年にはEVに占めるBEVとPHEVの比率は半々くらいが予測される。

気になる中国市場については、中国「BYD社」、米国「Tesla社」が寡占している現状について。また、2024年以降は、世界の主要地域で価格の引き下げが本格化する事と、ソフトウェアとハードウェアを分離する『SDV化』が、2024年の焦点となる事など説明した。

ギガキャストについては、講師は「1辺1mを超える巨大な車体構造部品をダイキャストで生産する技術である」と概要を説明。型締力4千トン超がギガキャストと一般的に認識されている。

海外のギガキャストの導入事例を紹介し、そのメリットとしてサイクルタイムが短縮されることで、生産コストが大幅に削減される。ライフサイクルでのCO_2削減と持続可能性の向上が図れる―などが挙げられた。

一方、課題としては設備の設置条件、巨大化に合わせた専用設計などを上げ、何といっても金型価格が億単位になる事から、その対応がカギとなるとした。

なお、講演に先立ちあいさつに立った朝岡理事長は「震災の影響、そして自動車メーカーの不正は金型業界を直撃しており、年初から難易な展開となっているが、今年は辰年の謂れで芽生える年と言われている。その芽生えが新たな金型技術の革新に繋がることを願いたい」と述べた。

引き続き行われた新年会では、振興会会長名古屋市工業研究所秋田重人所長、加藤理事長があいさつ。秋田会長は「当地域産業が震災の影響による復興の一助に、そして引き続き皆さんの技術力向上の支援に努めたい」。加藤理事長は、日本のGDPに触れ「日本の生産性の低さは如実である。弱い部分を克服すれば、伸び代も高く、金型業界もこれまでの進化に加え『ファクトリーオートメーション』に目を向け生産性を上げていければと思う」と述べた。

この後、中部日本プラスチック製品工業協会児玉康彦副会長（三扇化学）の発声で乾杯、宴の中締めはソディック中日本営業部水野明宏部長が行い閉会した。

トラスコ中山

成長の源泉は物流

ニアワセ＋（プラス）ユーチョク好調

トラスコ中山（本社＝東京都港区新橋、社長＝中山哲也氏）は2月9日、令和5年12月期の決算発表を行い、リアル、オンラインによる決算説明会を開催した。

経営成績は、売上高2千681億5千万円（前年比8・8％増）、売上総利益575億2千万円（同10・3％増）、販管費390億円（同4・0％増）、営業利益185億2千万円（同26・3％増）、経常利益186億7千万円（同23・9％増）、親会社株主に帰属する当期純利益122億7千万円（同15・4％増）。

ニアワセ＋ユーチョク」（荷物の詰め合わせ＋ユーザー直送）をはじめとする、同社の物流サービス、デジタルの仕組みや各種施策により売上高の増加に繋がったとしている。

令和6年（2024年／第62期）12月期の連結業績予想は、売上高2千847億円1千万円、売上総利益597億6千万円、販管費411億5千万円、営業利益186億1千万円、経常利益188億5千万円、当期純利益147億4千万円を計画している。

中山哲也社長

また中山社長は会見で「成長の源泉は物流であると考えている。事業の拡大は、M&Aの実践ではなくオーガニック企業として、持てる機能をトコトン高めて自分たちで成長することで実現させて行く。企業を育てることで人が育つという視点で、そのために必要な投資を継続して行く」と述べ、次の取り組み方針を説明した。

他社に真似のできないサービス・機能の強化として、第一に挙げられるのが実施以来、大好評を博している『ニアワセ＋ユーチョク』サービス（荷物を詰め合わせて、ユーザーに直送するシステム）。2024年は売上高の12・5％の構成比率を見込んでいる。

次に『MROストッカー』（現場で多用する消耗品を常置）の設置拡大。引き続き取扱メーカー、在庫アイテムの拡大（2030年に100万アイテムの実現を目指す）。

トピックとして準備が進められている『ユークル』（仮称）を紹介。これは、ユーザーが一刻も早く商品を入手したい場合に直接引き取りに来るシステム。これによって、発送運賃の削減、出荷という手段に止まらない流通サービスを実践できるなどのメリットが見込まれる。これらはいずれも、大型物流センター、最新物流システム、デジタル機能が整うことで実現できるものとし、そのための投資に傾注する。

また、これに伴う設備投資の進捗状況の説明があり、なかでも近い将来最大の物流拠点となる『プラネット愛知』（愛知県北名古屋市）については、2026年の稼働が発表された。この他、プラネット埼玉に導入（2025年）される最新物流機器『Skypod（スカイポッド）』の紹介。女性役員の育成プロジェクトについて、積極的な取組が紹介された。

ジーネット

声を聞きソリューション

中部機械加工システム展に3千名

『2024中部機械加工システム展』が2月20・21の2日間、名古屋市港区金城ふ頭の「ポートメッセなごや・第3展示館」で開催された。

同展はジーネット名古屋支社（名古屋市中区富士見町、取締役支社長＝松吉正訓氏）が運営事務局となり、主催店として傘下の販売店138社（194事業所）、出展メーカー174社の開催規模で、2日間で3千30名が来場した。

今回テーマとして掲げたのが「叶えたい」があふれる未来へ。加工に直面する課題を解決することで、生産性向上へ導くというのが背景である。

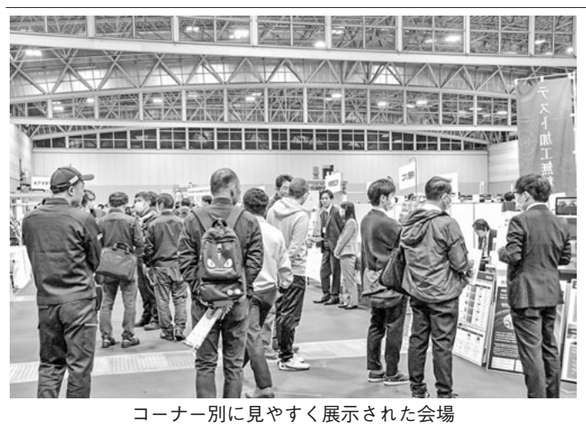
古里龍平社長

展示会では、主催店、事務局、出展メーカーが汎用性を超えたニッチなニーズに応えられるよう、試行錯誤して提案内容を高め、また、ジーネットの多彩な扱い商材（グループ会社の出展等）を生かし、セキュリティデザインなどの生産ラインへの新たな提案から技術・システムの販売へのプロセス、出展メーカーらのコラボレーションによるソリューションなどが見られた。

開会式では、ジーネット古里龍平社長があいさつ。「課題解決が展示会の最たる目的である。直面している大きな課題として人手不足、温室効果ガスの削減などがあるが、2030年の46％削減の数値目標への対応など、現場における電力の削減は必須である。これは一例にすぎず、今展では来場ユーザーの課題を吸い上げて『ソリューション』して行くことに三位一体で傾注したい」と述べた。

また、出展メーカー代表ヤマザキマザックトレーディング国内営業推進部山岡義典部長は「テーマを具現化して、如何にユーザーに素敵な夢を見ていただくかが私たちの使命で、それに全力を尽くしたい。一方、2024年の工作機械受注の予測は1兆5千億円（日工会発表）となっている。スタートの1月は好調とは言えないが、今展を契機に技術提案を積極的に行い来場者に有益な展示会に導いていきたい」とした。

2日間に亘る会場での感触、セミナーの熱心な聴講など、今年後半の受注回復への期待に繋げた。


コーナー別に見やすく展示された会場

DMG森精機

『MX戦略』が浸透

決23年度算　受注単価大きく上昇

DMG森精機（グローバル本社＝東京都江東区潮見、社長＝森雅彦氏）が発表した2023年度（1月1日～12月31日）の決算によると、連結受注金額5千200億円（前年比4％減）、営業利益542億円（同31％増）、当期純利益339億円（同34％増）となり、通期営業利益率については10％を達成し、3カ年計画『中期経営計画2025』の初年度を好発進した。

森雅彦社長

また注目するところは、機械1台当たりの受注単価が約6千200万円（前年度平均：約5千万円）へと大きく上昇。5軸加工機、複合加工機などの工程集約機を中心に自動化、フルターンキー化、DX、GXを実現するMX（マシニング・トランスフォーメーション）戦略の顧客への浸透が進んだ。

地域別受注高は、欧州が健闘した他、米州も第4四半期から好転している。業種別受注高は、航空・宇宙、医療、EV関連が好調であった。12月末の受注残高は2千470億円と高水準を維持した。年間配当は90円。

トピックでは、昨年来交渉を進めていた倉敷機械をこの1月に連結グループ化。これにより、主力製品であるCNC横中ぐりフライス盤を取り込むことで、製品のラインアップの拡充とともに、新たな顧客を確保した。

4月1日より社名を「DMGMORI Precision Boring株式会社」に変更する。売上高を約60億円見込んでいる。

2024年度の業績見通しについては、中期経営計画初年度の成果を背景に、連結受注高は、期初の段階では慎重に見込み、2023年度並みの5千200億円を計画。内製部品、エンジニアリング部門の収益性改善から、営業利益を前年度比5％増の570億円、当期利益を同3％増の350億円としている。なお、営業利益率を10・6％と予想している。

また、当面の需要の牽引役は、地域別には北米市場が、産業別には航空・宇宙、メディカル、金型、新エネルギー関連と判断しており、半導体関連は、次世代最先端向けの需要は堅調だが、その他の領域はやや回復が遅れており、期後半からの需要増を見込む。

森社長は決算報告で、「現在の景況感は横這いとし、2025年度は6千億円の受注、700億円の営業利益を見込んでいる。その先の受注計画は、80周年を迎える2028年度は8千億円、2030年度には1兆円の大台に乗せたい」と述べた。

なお、冒頭ではオペレーティングシステム『CELOS X』を2025年12月を目途に、全ての機械に実装する計画を発表した。

岐阜金型組合

企業連携の実例を聴く

メガキャスティングへの挑戦

岐阜県金型工業組合（理事長＝加藤丈詞氏、カトーメテック）は2月21日、ホテルグランヴェール岐山において研修会を行った。

昨今金型メーカーでは、主力ユーザーである自動車産業の大変革をはじめ市場の変化に対して一企業で十分な対応していくのが困難になってきている。

それを背景に増えているのが企業連携による取り組みで、研修会ではその実例として講師に米谷製作所（本社＝新潟県柏崎市）社長米谷強氏を招聘し、金型メーカー間の連携による『メガキャスティング』への挑戦について話を聴いた。

米谷強氏

メガキャスティング（ギガキャスティング）は、アルミニウム合金で自動車の車体部品などを一体成形する工法で、その型締力は4千～5千トン相当である。EV化を背景に部品点数の削減、製造工程の削減を図る上で関心が高まっている。

米テスラ社をはじめ、欧米・中国のメーカーではすでに採用、国内ではトヨタ自動車も採用に動き出している。

現状については、中国の例を取り上げ説明。因みに使用するダイカストマシンのサイズは、2万トンの計画まで拡大されており、大きな驚きである。

米谷製作所は、大手自動車メーカー、部品サプライヤー向けの鋳造・ダイカスト金型の専業メーカー。既にスイスの部品メーカーGF（ジョージ・フィッシャー）社（中国）とは、10年以上前から連携を図っており、今回『メガキャスティング』へのチャレンジで企業連携を図ったのが、自動車、住設等の大型樹脂射出成形金型の製作を得意とする共和工業（本社＝新潟県三条市、社長＝熊谷勇介氏）である。

現状の生産分野を超えるユーザーニーズに応えるためには？この営業、生産管理、製造、品質保証など、連携することにより互いの強みを前面に、技術を共有することで利害が一致している。

企業連携についての研修会

メガキャスティングの実績を積むことでどこまでメリットが拡がるか期待されるが、一方初期投資（一例：6千トンクラスの金型で2億円以上は必要）が大きい事、大型ダイカストマシンを設備する建屋、製作した金型の輸送など環境を整える事も必須となることから、日本国内での普及は現段階では時間がかかる等の課題を提起し、その克服に着実に取組んでいくと述べた。

ソリューションが連携へのスタートとなり、現在3社でメガキャスティングに取り組んでいる。共和工業とは、

信頼のブランド
RSK　より速く・より精密…
各種精密ゲージ
理研測範株式会社
代表取締役　遠藤友紀雄
〒452-0811 名古屋市西区砂原町163-1
☎（052）503-1251 FAX（052）503-1522
ホームページ http://www.r-s-k.co.jp/
eメール yukio_endo@r-s-k.co.jp

全機械工具業界推奨
機械工具業界に特化したデータと機能で、導入したその日から業績アップが図れる即戦力としてお役に立てます
業界唯一の全日本機械工具商連合会推奨販売管理システム
機工メイトⅡ Ver3
Welcome! KM2 Third Edition
社内業務の効率化　顧客対応力の向上　多様化するニーズへの対応
●データベースから商品が特定できる　●一度の入力で伝票がどんどん出来上がる　●使い方は簡単、利用スタッフが変わっても安心
豊富な商品データベース
機工業界データ収録数　メーカー総商品数合計 約554万点 以上掲載（※重複あり）
切削関連 109メーカー｜工具関連 281メーカー｜伝導油空圧関連 37メーカー｜管工機材関連 19メーカー｜鋲螺、その他 134メーカー
商社様データ
■トラスコ中山 ■NaITO ■Cominix ■オオマシン ■アズワン ■ジーネット ■日伝 ■ユアサ商事
※記載されている会社名及び商品名は、各社の登録商標または商標です。※記載内容は 2022年9月末現在のものです
https://kiko-mate.jp/
詳しくは 特設サイト をチェック！
機工メイト 特設サイト　検索
電帳法対応済　電子データ送信
Broadleaf Cloud Platform "DXサービス"
電子帳簿保存法対応ソリューション 電帳DX
株式会社ブロードリーフ　https://www.broadleaf.co.jp　全国29拠点
中部営業課　〒461-0004名古屋市東区葵3-22-8 ニューザックビル5F　TEL052-856-2620　FAX052-856-2622

切削工具 / 測定機器・工具
主要取扱いメーカー
・㈱ MOLDINO
・京セラ㈱
・住友電気工業㈱
・ダイジェット工業㈱
・㈱第一測範製作所
・㈱ミツトヨ　他

標準ねじゲージ
精密機械工具 販売
株式会社 ミユキ商會
〒466-0054 名古屋市昭和区円上町17番21号
TEL（052）882-0471　FAX（052）872-1563

防災用品『アクモキャンドル』
水につけるだけで　2秒で点灯！

災害時にお役に立ちます
▽軽量・コンパクトなのでバックに入れ、常に携帯できます。
▽一度の点灯で長時間使用できます。
▽乾燥した使用環境なら10年近く保存できます。
工具・産業機器事業　環境社会事業
朝日株式会社
〒467-0003 名古屋市瑞穂区汐路町4丁目4番地
TEL（052）680-7581　FAX（052）680-7815
http://www.asahi-kabu.co.jp/
デジタル在庫

CoroMill® MS60
高い汎用性・経済性と
高生産性を実現する
直角肩削りカッター

SANDVIK coromant
CoroMill® MS60の詳細はこちら：
sandvik.coromant.com/coromillms60

ボルトなし！　手間なし！
ワンタッチ着脱
ボルトに替わる締結部品
アタッチメントや治具の着脱などを
工具を使わず素早く行えます！
ワンタッチ着脱
新タイプ
ピンホールドクランパー ストロング
以前よりご要望の多かった高いクランプ力を実現、
省スペースな強力ピンクランプです。

Value Creator IMAO イマオ コーポレーション
代理店
株式会社 服部
〒453-0043 名古屋市中村区上ノ宮町2-21
TEL（052）481ー5336（代）
FAX（052）481ー0411

部品加工協会

点から面への活動展開

第9回総会 役員代表に村井氏再選

中部部品加工協会（代表理事＝村井正輝氏、村井）の第9回総会は2月16日、名古屋市中村区のウインクあいちで開催された。

2024年度（第9期）は、役員改選期にあたり選挙投票により新役員8名（別掲）が決まり、代表理事は村井正輝氏の続投が決まった。

村井代表は「製造業の環境は今までとは違った悪化の状況がうかがえる。活動を通してモノづくりの未来につなげるという趣旨でスタートした当初に比較し、現在は活動内容もかなり具体化して変化に対応している。但し、モノづくりを継続するにはこれまでと同様な企業活動では困難な時期に来ている。協会では、ネットワークを活用し1企業（点）ではなく、組織（面）を挙げて、この状況を打開していきたい」と述べ、賛同を得た。

村井正輝代表理事

議案審議は村井代表が議長を務め、活動報告ではコロナ禍以前にほぼ戻ったフル活動の成果が報告され、収支報告と共に承認された。

24年度の活動計画については、展示会出展は「ロボットテクノロジージャパン・RTJ」「JIMTOF」「メッセなごや」に加え、新たに「TECH Biz EXPO」の出展を加えた4展。出展会員の企業紹介と協会活動を紹介し、会員拡大を図る。会員拡大については今年度の目標は、正会員・賛助会員あわせて180社。（現在155社）

また、秋期には海外展示会の視察も計画しており、年間通じての教育・研修をはじめとする活動数は20数件実施される予定である。ネット上での現場の課題解決に対応する事例紹介も幅を広げる。

この他、役員以外で活動へ積極的に参加するスタッフ登録制の実施、ものづくりの周知を目的とする動画制作（展示会のブース等で公開）などが計画されており、いずれも承認された。

2024年度　第9回総会

新年度役員

▽代表理事＝村井正輝（村井）▽副代表理事＝牧憲市（牧製作所）▽理事＝太田利治（滝本技研工業）、小林幸雄（名南機械製作所）、小森有志（岐阜プロテック）、瀬崎雅之（坂井製作所）、長谷川信（丸正精工）〈新任〉、山本道典（建和）。監事（改選なし）＝赤塚健次（赤塚製作所）。（敬称略）

愛知機工組合

5月28日に通常総会

5年度最終理事会 事業顧み新年度展望

愛知県機械工具商業協同組合（理事長＝水谷隆彦氏、ミズタニ機販）の23年度最終理事会が2月1日午後4時30分より東京第一ホテルで開催され、次の議題について話しあった。

年度内の事業では、中部ブロック会議、親善野球大会について。中部ブロック会議には、全機工連所属組合の愛知、岐阜、三重、遠州が参加。今回の幹事は遠州機工会（会長＝前嶋孝行氏、前島商会）で、3月14日（木）午後5時より、浜松市内のオークラ・アクトシティホテル浜松で開催される。当日愛知からは、三役らが出席する。なお、会議前には浜松地区の企業見学会、翌日は懇親ゴルフが企画されている。

野球大会については、第82回大会の決勝戦が3月23日（土）に江南市営グランドで開催される。当日は第1試合Bゾーン：落合×志知（開始8：30）、第2試合Aゾーン：井高×太田廣B（開始10：30）が予定されている。なお、24年度の第83回大会は4月13日（土）、一宮総合グランドを会場に開幕する予定。

令和6年度通常総会は、5月28日（火）午後4時30より名古屋市中区の名古屋ガーデンパレスを会場に開催される。5年度の決算予測について、梅村龍盛会計理事（梅村本店）より説明が行われた。また、今年度は役員改選期となるため、各支部総会で理事候補者を選出するなど今後準備が進められ、次回の4月理事会で最終打ち合わせが行われる。

6年度最大事業となる『ロボットテクノロジージャパン2024』（以下：RTJ）については準備状況が報告され、それによると共催者の組合が受付窓口となる出展者が2月5日現在67社・360小間で、前回はもちろんのこと今回目標の65社・300小間を突破し、最終の集計では400小間近くになる見通し。全体の開催規模は、250社・1千200小間が見込まれており、出展者説明会が3月19日（火）に、RTJの会場となるAichi Sky Expoで開かれる。

6年度の社員研修事業については、新入社員研修を4月、セールスエンジニアスクールが6月と12月に行うことを計画。このほか、能登半島地震における義援金について、組合として愛知県中央会、愛知県青年中央会、労働保険事務組合連合会を通じておくることを決定。また、1月の新年賀詞交歓会の開催報告が承認された。

なお、組合動向については組合員2社、賛助会員1社の退会（現況：組合員223社、賛助会員108社）。訃報は、ツボイ元会長坪井清氏（89歳）、三井機工三井重信社長ご母堂美保子さん（91歳）の2件が報告された。

5年度　最終理事会

新潟精機

脱プラで紙箱を採用

『ピンゲージ リフィルセット』

新潟精機（新潟県三条市林町）は、プラスチックのセットケースを廃し、紙箱を採用した新ピンゲージシリーズ『ピンゲージ リフィルセット』の販売を2月から新たに開始した。

同社では、ピンゲージのセットは〝プラスチックや木製のセットケースで販売する〟という業界の常識に対して、環境を配慮した脱プラスチックへの加速化ほか、全ての現場にセット用のケースが必要であるかどうかを再検討しながら取り組みを重ね、このほど『ピンゲージ リフィルセット』を新シリーズとして製品化した。

『ピンゲージ リフィルセット』は、環境配慮に留まらず、次に上げる新たな利点を有している。

▽不要なフタ部分を切り離すことで、都度フタを開けることなくゲージを取り出すことが可能になった。3つに分解可能な内部のスタンドを使用することで、必要なサイズだけをセレクトして持ち運ぶことも可能である。

▽「フタを切り離した内箱のみで使う」という選択肢が生まれたことで、管理方法が広がった。例えば、①すでに持っているプラスチックのセットケースに入れ替える②箱のまま保管する③内箱のみを市販のレターケース等に入れ、片手で引き出してゲージを選ぶ④レターケースの引き出しごと現場へ持ち込むなどである。この様に選択肢が増えることで、製造・検査の業務最適化へ繋げる事を可能とした。

■ピンゲージ リフィルセット製品概要〈仕様〉▽サイズ＝全20サイズ▽材質＝鋼▽寸法区分＝0・010㎜とび▽組本数＝51本（AA－OA－Rのみ31本）。

■ピンゲージ リフィルセット特設web bページ https://niigataseiki.co.jp/lp/pingauge-refill/

【問合せ先】☎025６（33）5502、名古屋営業所☎0562（95）3860

名古屋精密金型

創業50年次代へ『高める』

渡邊幸男氏お別れの会

名古屋精密金型（本社＝愛知県知多郡東浦町、社長＝渡邊祐子氏）は、昨年11月18日に永眠された創業者で名誉会長渡邊幸男氏の『お別れの会』を2月2日、あいち健康の森プラザホテル「プラザホール」において執り行った。

同社はプラスチック金型の製作・メンテナンスが主力で、特に自動車ランプの金型には定評がある。

1975年創業以来徐々に事業を拡大し、現在は国内2工場（熊本・宮崎）が稼働、ベトナムの子会社が成長し続けている。

当初から今年『創業50年記念式典』が計画されており、渡邊名誉会長も社員と一緒になって祝うその日を楽しみにしていたが、願いは叶わなかった。

お別れの会は〝渡邊幸男と創業50年のあゆみ〟として執り行われ、映像で会社の50年のあゆみと故人の86年に亘る生涯が映し出された。

お別れの言葉では、友人代表、金型業界からは日本金型工業会小出悟会長が、組織での貢献など故人を偲び、参会者らは冥福を祈り献花を行った。

昨年、創業家二代目社長に就任した渡邊祐子社長は「故人は創業者として、父として唯一無二の存在でした。培われた金型製作技術を継承すると共に、今後は時代の変化に合わせて少しずつ変化しながら、次の世代に繋げてゆくことを使命として、社員と共に取り組み、社是である『高める』を遂行して行きたい」とあいさつした。

御用命は　株式会社　中部機工新聞
・社誌、記念誌　・会社案内
・総合カタログ　・会社経歴書
TEL〈052〉882-5800
FAX〈052〉882-5866

「環境に優しく
コストダウン
そんな刃物の使い方」
ご提案します。
信頼できる再研磨製品と納期をご提供します。
ISO 9001 2000年版 移行審査合格
URL:http://www.ongiken.co.jp/
株式会社 オーエヌ技研
〒441-1347 愛知県新城市川田字本宮道100番7
TEL0536(23)5362 FAX(23)5385

Daiwa system
お客様にとっての、
「ベスト」を提案する。
Good design for customers
お客様へのヒアリングを通して
仕様に沿った特殊油圧ユニットを設計・製作します
https://daiwasystem.com/
http://www.shimizu.co.jp
シミヅ産業株式会社
本社／大阪市西区立売堀 2-5-23
名古屋支店
〒454-0014 名古屋市中川区柳川町19-9
TEL 052(678)8711 FAX 052(678)8782
■本社/大阪 ■支店/東京・北関東・名古屋・京都・大阪・東大阪・広島・岡山・九州
■営業所/東北・長野・西関東・浜松・北陸・南大阪・姫路・熊本 ■出張所/四国・福山・北九州

KITO アンカー固定不要で３次元搬送を実現！
モバイルライトクレーン
NEW
※巻上機がセットになったパッケージ製品も用意！
キトーライトクレーン PROシステム
http://www.slft.co.jp/
株式会社サカイリフテク 名古屋市中区金山1-4-8
TEL.052-331-5381 FAX.052-332-5685

―NC工作機械・工具の総合商社―
株式会社 新栄商会
SHIN-EI
代表取締役社長 時津達也
■本社 〒468-0056 名古屋市天白区島田二丁目516番地
TEL(052)801-1222(代) FAX(052)803-1321
■営業所
名古屋営業所 TEL(052)801-1264 FAX(052)803-1321
豊田営業所 TEL(0565)53-6561 FAX(0565)53-6562
三河営業所 TEL(0566)92-3501 FAX(0566)92-4595
小牧営業所 TEL(0568)22-6611 FAX(0568)22-6631
豊川営業所 TEL(0533)83-6051 FAX(0533)80-7341
岐阜営業所 TEL(058)371-5011 FAX(058)371-5021
津営業所 TEL(059)231-2111 FAX(059)231-2113

食品衛生法改正により、HACCP義務化
2018年6月13日公布 2020年6月1日施行
お客様の理想をカタチに。
食品機械向けギヤードモータ
CLEAN & SAFETY
タチカワブラインドグループ
富士変速機株式会社 http://www.fujihensokuki.co.jp
http://www.daido-net.co.jp
ダイドー株式会社
名古屋本社／名古屋市中村区名駅南4－12－19 (052)533-6710(代)
東京本部／東京都江戸川区瑞江4－39－6 (03)3676-9111(代)
大阪本部／大阪市西区安治川1－2－8 (06)6581-1161(代)

精密測定機器のナンバーワンサプライヤーをめざして
より正確に、そしてよりスピーディーな
安定供給が私達のモットーです。
◆大阪営業所 ☎06-6762-6041代 FAX 06-6762-6141
◆神戸営業所 ☎078-926-5241代 FAX 078-926-5041
◆京都営業所 ☎075-621-6101代 FAX 075-621-6165
◆滋賀営業所 ☎0749-21-3322代 FAX 0749-21-3323
◆名古屋営業所 ☎052-322-6241代 FAX 052-331-6350
◆津営業所 ☎059-238-1335代 FAX 059-238-1337
◆静岡営業所 ☎054-202-7101代 FAX 054-202-7102
◆松本営業所 ☎0263-29-5222代 FAX 0263-29-5228
◆金沢営業所 ☎076-268-6391代 FAX 076-268-8391
◆岡山営業所 ☎086-263-5121代 FAX 086-263-5123
◆福山営業所 ☎084-954-0815代 FAX 084-954-0849
◆福岡営業所 ☎092-432-0700代 FAX 092-432-0705
◆埼玉営業所 ☎048-433-2929代 FAX 048-433-2920
◆横浜営業所 ☎045-473-5350代 FAX 045-473-5360
◆北関東営業所 ☎028-614-1200代 FAX 028-614-1201
◆仙台営業所 ☎022-288-9881代 FAX 022-288-9882
◆Epixis課 ☎06-6762-6615代 FAX 06-6762-6616
MEASUREMENT PRIDE
UNO
宇野株式會社
〒540-0005 本社 大阪市中央区上町A番23号
☎06-6762-6040代 FAX06-6762-7265
URL http://www.uno.co.jp/
西日本商品センター 〒578-0965 東大阪市本庄西2-6-44 ☎06-6747-6047代 FAX06-6747-6048
東日本商品センター 〒328-0002 栃木県栃木市惣社町1510-18 ☎0282-29-1356代 FAX0282-29-1357
◆札幌連絡所 ◆八王子連絡所 ◆広島連絡所
◆盛岡連絡所 ◆富山連絡所 ◆熊本連絡所
◆秋田連絡所 ◆浜松連絡所
UMT タイ現地法人 UNO MACHINERY(THAILAND)CO.,LTD.
バンコクオフィス TEL:02-716-9002 FAX:02-716-9003
アマタオフィス TEL:038-213-114 FAX:038-213-115
UPMV ベトナム現地法人 UNO PRECISION MACHINERY VIETNAM CO.,LTD.
TEL:84-3822-5829 FAX:84-3822-5830